

りそな 経済フラッシュ

(日本7-9月期GDP1次速報値)

◎注意事項をよくお読み下さい

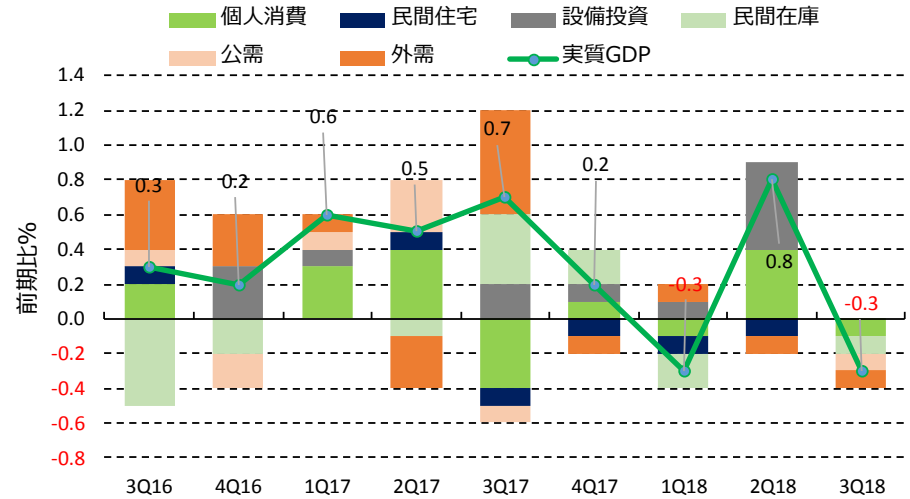


〇概況

- ◆ 7-9月期GDPは前期比▲0.3%と2四半期ぶりのマイナス成長
- ◆ 自然災害要因も大きく内需、外需ともにGDP押し下げに寄与
- ◆ GDPデフレーターは前年同期比▲0.3% (4-6月期▲0.0%)

- ✓ 11月13日内閣府発表の2018年7-9月期実質GDP1次速報値は、前期比▲0.3% (年率▲1.2%)と市場予想 (前期比▲0.3%、年率▲1.0%)を若干下回り、2四半期ぶりのマイナス成長となった。個人消費は前期比▲0.1%、設備投資は同▲0.2%と8四半期ぶりのマイナスで、内需がマイナス寄与。輸出が前期比▲1.8%と減少し外需もマイナスに寄与した (右図)。GDPデフレーターは前年同期比▲0.3%となった。
- ✓ 個人消費は地震、豪雨、台風等の自然災害や生鮮野菜の価格高騰の影響により、前期比▲0.1% (寄与度▲0.1%ポイント：以下%pt、4-6月期+0.4%)と下落も、市場予想 (▲0.2%)は上回った。耐久財消費が0.4% (4-6月期+2.2%)の一方、サービス消費は▲0.7% (4-6月期+0.2%)と4四半期ぶりのマイナス。自然災害により宿泊や飲食サービス等の需要が減った影響とみられる。
- ✓ 民間住宅は前期比+0.6%と5四半期ぶりのプラス (寄与度+0.0%pt、4-6月期▲1.9%)。貸家着工低迷の影響が剥落しプラスに転換。
- ✓ 設備投資は前期が非常に強い伸びとなった反動もあり前期比▲0.2% (寄与度▲0.0%pt、4-6月期+3.1%)と市場予想 (+0.2%)を下回った。
- ✓ 公的需要は前期比▲0.2% (寄与度▲0.1%pt、4-6月期+0.1%)。政府消費が+0.2% (寄与度+0.0%pt)、公共投資が▲1.9% (寄与度▲0.1pt)。
- ✓ 外需 (輸出 - 輸入 = 純輸出)の寄与度は▲0.1%ptと2四半期連続のマイナス。輸出が前期比▲1.8% (4-6月期+0.3%)と減少。輸入は▲1.4% (4-6月期+1.0%)。関西国際空港の閉鎖による影響のほか、自動車輸出の伸び悩みやインバウンド消費の低迷も輸出減少の要因となった。
- ✓ GDPデフレーターは前年同期比▲0.3% (4-6月期▲0.0%)。国内需要デフレーターは同+0.7%の一方で、原油価格の高騰で輸入デフレーターが上昇しGDPデフレーターを押し下げた。

【実質GDP成長率 需要項目別 (前期比)】



前期比 寄与度%pt	2017		2018		
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9
実質GDP	0.7	0.2	-0.3	0.8	-0.3
民需	0.2	0.3	-0.3	0.8	-0.2
個人消費	-0.4	0.1	-0.1	0.4	-0.1
民間住宅	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	0.0
設備投資	0.2	0.1	0.1	0.5	0.0
民間在庫	0.4	0.2	-0.2	0.0	-0.1
公需	-0.1	0.0	0.0	0.0	-0.1
政府消費	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
公共投資	-0.1	0.0	0.0	0.0	-0.1
公的在庫	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
外需	0.6	-0.1	0.1	-0.1	-0.1
輸出	0.5	0.4	0.1	0.1	-0.3
輸入	0.2	-0.5	0.0	-0.2	0.2

【出所】内閣府、IN情報センター

◎注意事項
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。